

広島県まちづくり実行委員会 活動報告

報告日 2008 年 12 月 4 日 (木)

報告者 福屋労働組合 氏 名 石川 祐司

開催日 2008 年 11 月 29 日 (土)

開催場所 広島市南区～中区

参加者 石川・大上 (福屋労組)

内容 メモリアル市民球場 & 夢の器新球場をめぐるハイキング

09 年春の完成に向け工事が進む「新広島市民球場 (マツダ ズームズームスタジアム広島)」と惜しまれながら 51 年の歴史に幕を閉じる「広島市民球場」をめぐるハイキングに参加しました。来年 3 月までの毎週土曜日にカープファンの市民ガイドによる案内で約 2 時間 30 分の行程で実施されています。工事中の新球場の大きさに圧倒されたり、広島市民球場では通常入ることのできない記者席やブルペン、またカープ投手がグラウンドに出る前に必ずタッチするという伝説の「津田プレート」もコースに組み入れられていました。

『まちづくりフォトアルバム』



当日の参加者は何と 150 名。予想以上の人数に驚きました。広島駅前の市場も通るなど、新たな広島を再発見できました。



新球場 (左上) と現在の市民球場 (右下) をめぐる約 3 キロのハイキング。広島カープや広島市民球場が市民から愛されてきた証を随所に体験できました。

まとめ・感想

JR西日本の「DISCOVER WEST (観光キャンペーン)」の一環としてはじめられたこのハイキング。回を追うごとに参加者が増えてきているとのことでした。内容は単なる球場をめぐる企画なのですが、やはりそこで感じるのは「カープ」や「広島市民球場」へのみんなの思いでした。特に広島市民球場では参加者が思い出に浸りながら説明を聞いている姿は印象的でした (もちろん参加者の私も思いに浸っておりました)。また、県外からの参加者も多く、広島の貴重な宝物だと改めて感じたハイキングでもありました。役目を終えた広島市民球場が、なぜかっことよく見えた 1 日でした。